

GLOBAL COMMUNICATIONS

世界を繋ぐ 人に優しいコミュニケーションの創造へ

株式会社クレステック 決算説明会

2022年9月1日
株式会社クレステック
代表取締役社長 高林 彰



New Office,
New Opportunities!
※2022年秋 本社（浜松）移転





目次

1. 2022年6月期決算実績（連結）
 2. 2023年6月期業績予想（連結）
 3. 新中期経営計画
 4. 株主還元
- Appendix



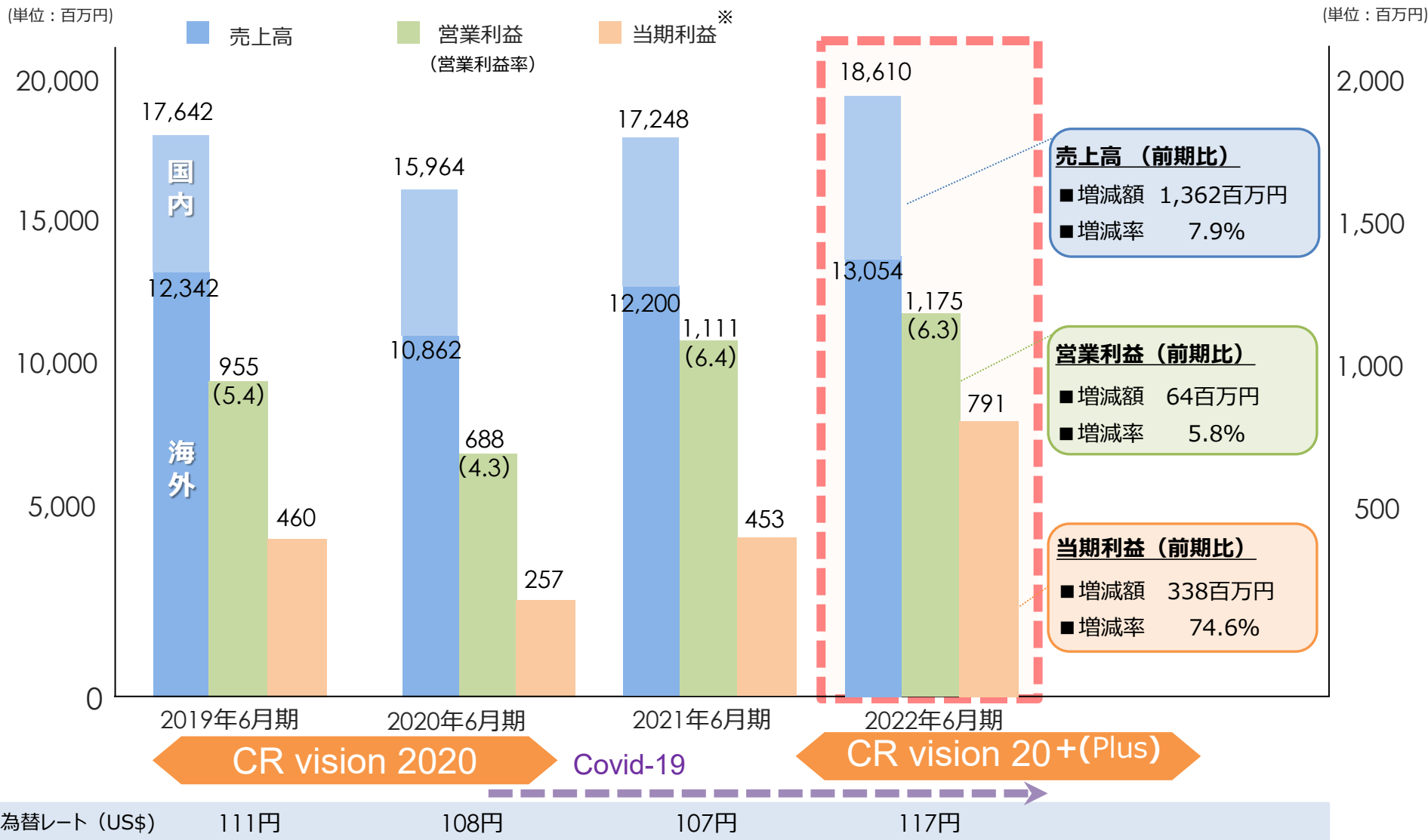
1.2022年6月期

決算実績
(連結)

1. 業績推移
2. 営業利益増減要因
3. 損益計算書(P/L)
4. セグメント別売上高
5. セグメント別営業利益
6. 販売先別売上高
7. 貸借対照表 (B/S)
8. キャッシュ・フロー計算書

1-1. 業績推移

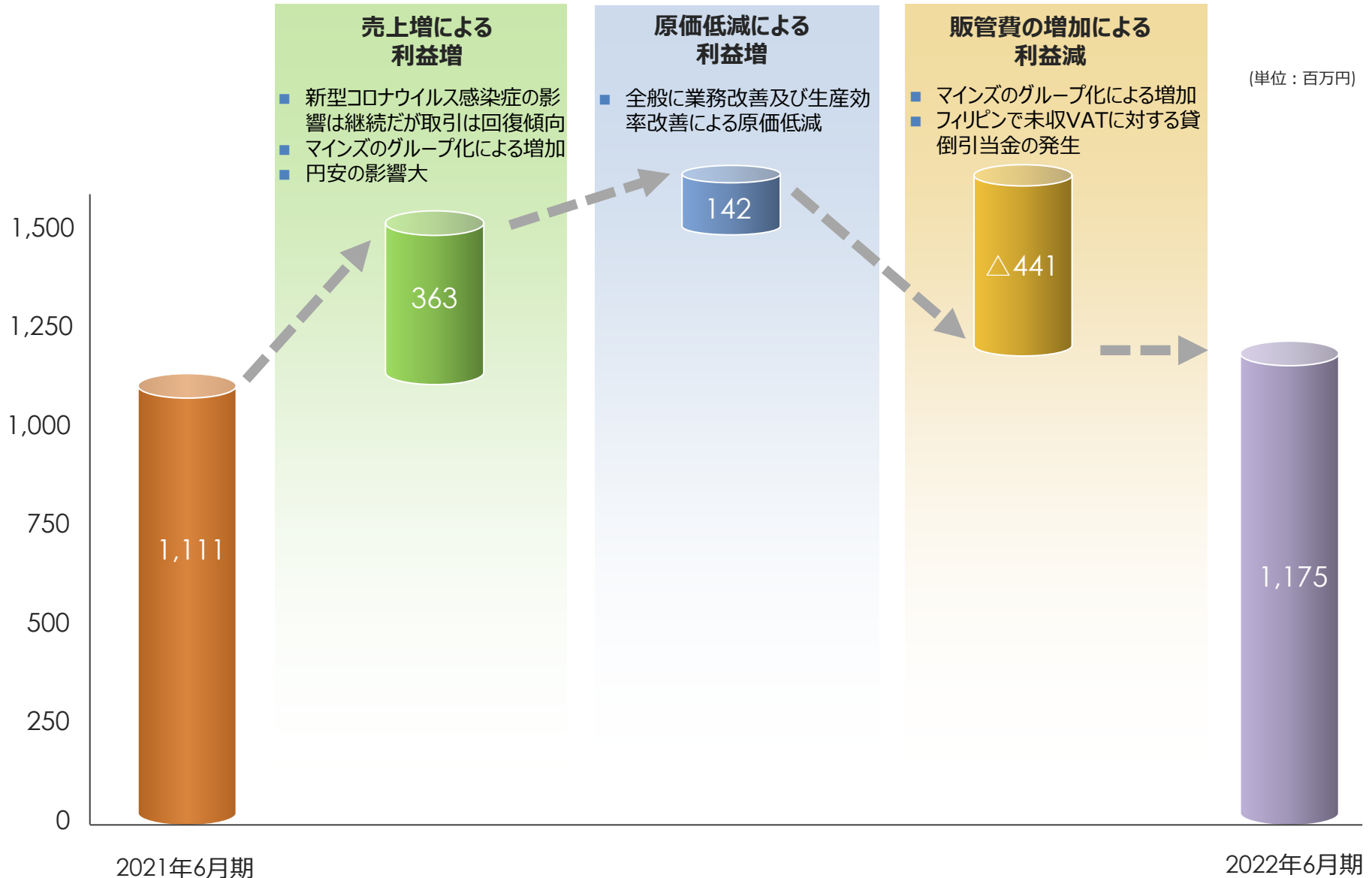
- 新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの全体的に取引は回復
- 売上、利益とも過去最高額を更新



※ 当期利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」について記載

1-2. 営業利益増減要因

- 売上高の増加及び原価低減による利益増が、販管費の増加による利益減を上回り増益



1-3. 損益計算書 (P/L)

(単位：百万円、%)

	実績				
	2021年6月期		2022年6月期		
	金額	構成比	金額	構成比	前期比 増減額 (率)
売上高	17,248	100.0%	18,610	100.0%	1,362 (7.9%)
売上総利益	4,604	26.7%	5,109	27.5%	505 (11.0%)
販売費及び一般管理費	3,492	20.3%	3,934	21.1%	441 (12.6%)
営業利益	1,111	6.4%	1,175	6.3%	64 (5.8%)
経常利益	1,067	6.2%	1,360	7.3%	293 (27.5%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	453	2.6%	791	4.3%	338 (74.6%)
減価償却費	750	—	746	—	△4 (△0.6%)
設備投資額	791	—	1,226	—	435 (55.0%)

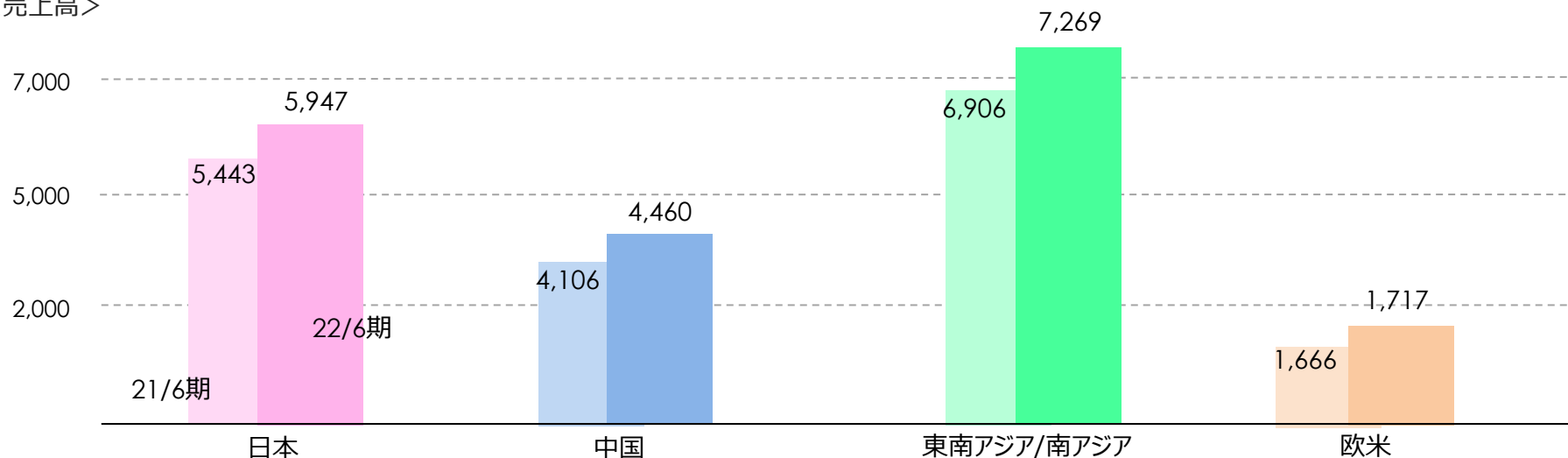
(注) 換算レート (期中平均レート) は、2021年6月期は、1ドル107円、2022年6月期は、1ドル117円となります。

1-4. セグメント別売上高

(単位：百万円、%)

	実績					コメント
	2021年6月期		2022年6月期			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比 増減額 (率)	
売上高						
日本	5,443	30.0%	5,947	30.7%	503 (9.2%)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電器・輸送機器が堅調、自治体事業の回復 ■ マイズのグループ化で増額
中国	4,106	22.7%	4,460	23.0%	354 (8.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 蘇州工場 医薬関係は取引拡大 ■ 上海ロックダウンだが輸送機器関係も堅調
東南アジア/ 南アジア	6,906	38.1%	7,269	37.5%	362 (5.3%)	<ul style="list-style-type: none"> ■ フィリピン 取引回復傾向 ■ インドネシア メディカル系拡大 ■ 他拠点も概ね堅調
欧米	1,666	9.2%	1,717	8.9%	51 (3.1%)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 欧州 電器関連低調、輸送機器系回復 ■ 米国 翻訳事業 堅調に拡大

<売上高>



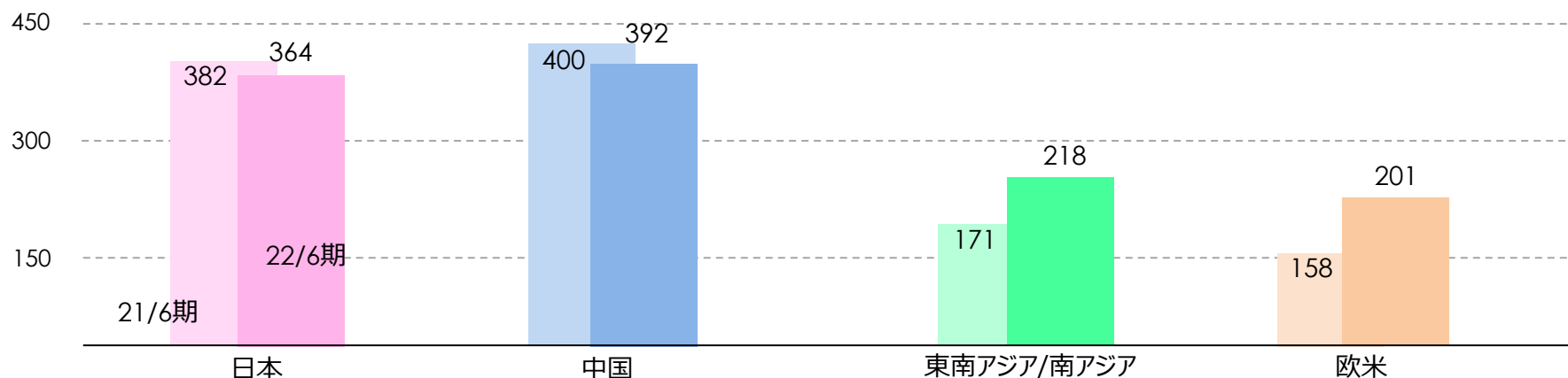
(注) セグメント間取引消去調整前

1-5. セグメント別営業利益

(単位：百万円、%)

	実績					コメント
	2021年6月期		2022年6月期			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比増減額(率)	
セグメント利益（営業利益）						
日本	382	34.4%	364	31.0%	△18 (△4.8%)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 年金資産の減少による退職給付費用の増加 ■ 関連子会社の利益改善もしくは利益拡大
中国	400	36.0%	392	33.4%	△7 (△1.9%)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上海ロックダウンにより上海・蘇州が減益 ■ 東莞 完全商社化に向けた改善で収益改善
東南アジア/ 南アジア	171	15.4%	218	18.5%	47 (27.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ■ インドネシア タイ 継続的に堅調 ■ フィリピン VAT発生も取引回復で利益改善
欧米	158	14.3%	201	17.1%	42 (26.9%)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 米国 翻訳事業の拡大で増益 ■ 欧州 安定的に利益堅調

<セグメント利益>



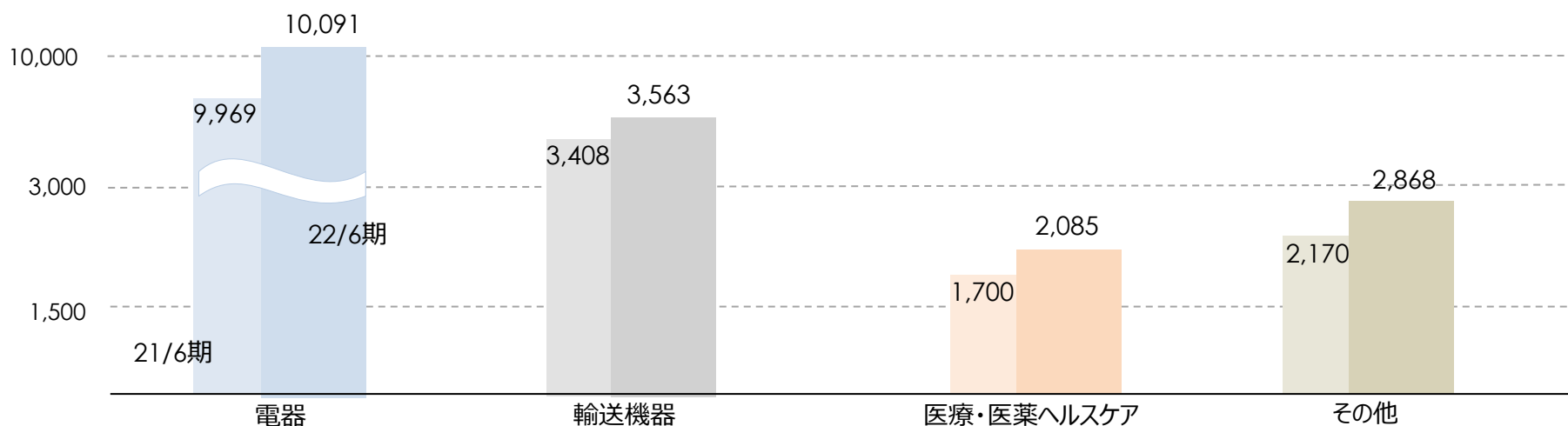
(注) セグメント間取引消去調整前

1-6. 販売先別売上高

(単位：百万円、%)

	実績					コメント
	2021年6月期		2022年6月期			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比増減額 (率)	
電器 (デジタル製品・情報機器・家電)	9,969	57.8%	10,091	54.2%	122 (1.2%)	■ 日本、フィリピンにて取引回復傾向
輸送機器	3,408	19.8%	3,563	19.2%	155 (4.6%)	■ 日本、欧州にて取引回復 ■ 蘇州工場にて取引堅調
医療・医薬ヘルスケア	1,700	9.9%	2,085	11.2%	385 (22.7%)	■ 蘇州工場 継続的に取引拡大
その他	2,170	12.6%	2,868	15.4%	697 (32.2%)	■ マインズのグループ化による販促事業拡大

<販売先別売上高>



(注) 上記実績数値は未監査

1-7. 貸借対照表 (B/S)

(単位：百万円)

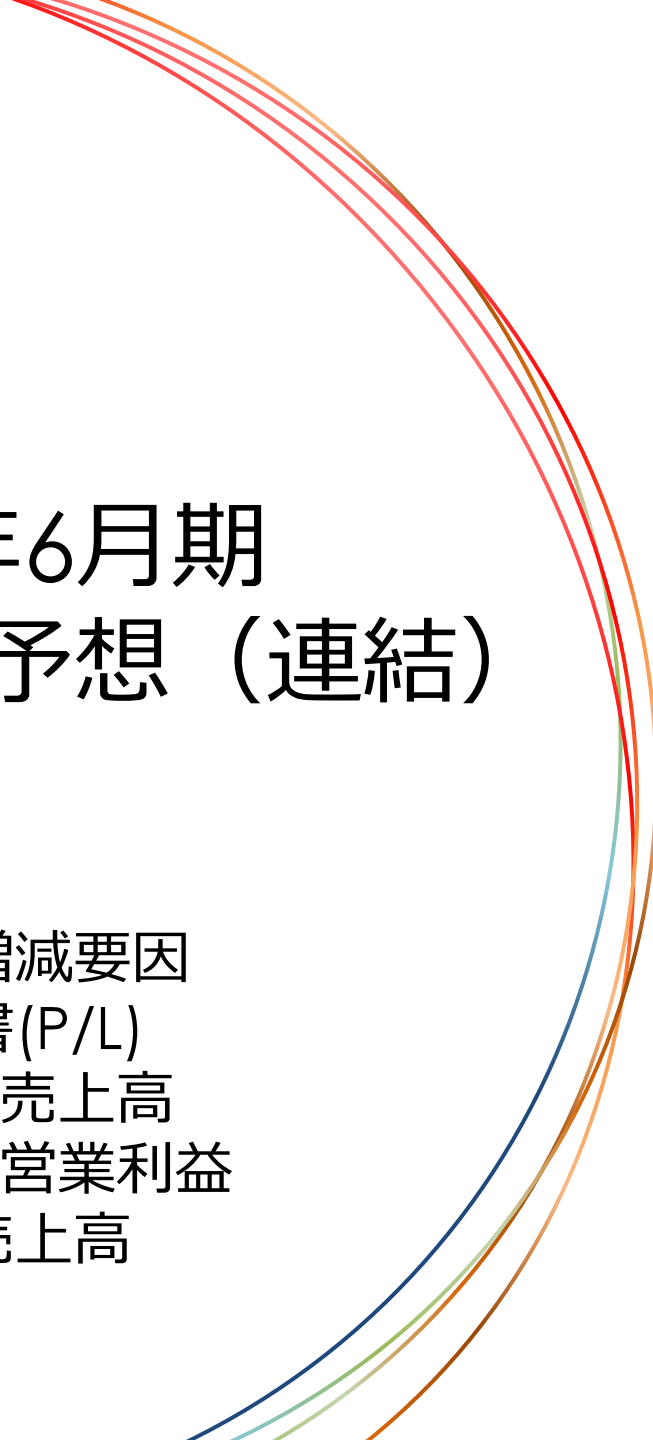
	2021年6月期	2022年6月期	増減額	コメント
流動資産	9,178	11,065	1,887	
現金及び預金	3,612	4,914	1,301	■ 利益の増加及びマイنزのグループ化による増加
受取手形及び売掛金	3,267	3,340	73	
たな卸資産	1,773	2,257	484	
固定資産	4,966	6,516	1,550	
有形固定資産	3,908	5,053	1,145	■ 新本社及び蘇州新工場に関する投資あり
無形固定資産	106	360	254	
投資その他の資産	951	1,101	150	
資産合計	14,144	17,582	3,437	■ 円安による影響大
負債合計	9,070	10,635	1,565	
(有利子負債残高)	6,168	7,085	917	■ 新本社及び蘇州新工場の建設に伴う借入金の増加あり
純資産合計	5,074	6,946	1,872	
負債純資産合計	14,144	17,582	3,437	■ 円安による影響大

(注)換算レート(期末日レート)は、2021年6月期は1ドル111円、2022年6月期は1ドル137円となります。

1-8. キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2021年6月期	2022年6月期	増減額	コメント
営業活動による キャッシュ・フロー	1,761	1,786	25	
投資活動による キャッシュ・フロー	△875	△1,268	△392	■ 新本社及び蘇州新工場の建設に伴う支出
財務活動による キャッシュ・フロー	△533	395	929	■ 新本社及び蘇州新工場の建設に伴う借入金の増加
現金及び現金同等物 に係る換算差額	144	535	390	■ 為替レートの変動によるもの
現金及び現金同等物 の増減額	497	1,449	952	
現金及び現金同等物 の期首残高	2,813	3,310	497	
現金及び現金同等物 の期末残高	3,310	4,760	1,449	

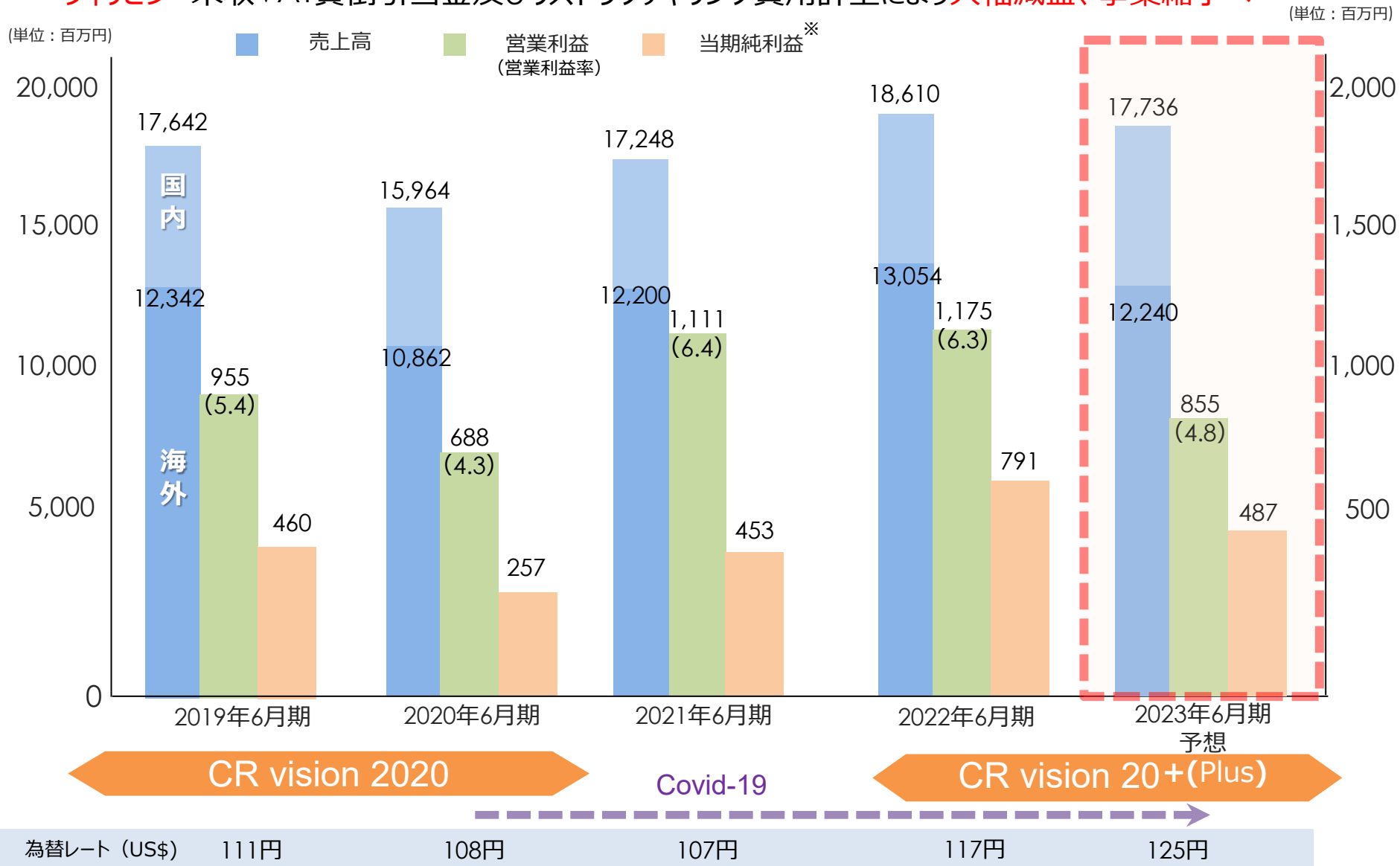


2. 2023年6月期 業績予想（連結）

1. 業績予想
2. 営業利益増減要因
3. 損益計算書(P/L)
4. セグメント別売上高
5. セグメント別営業利益
6. 販売先別売上高

2-1. 業績予想

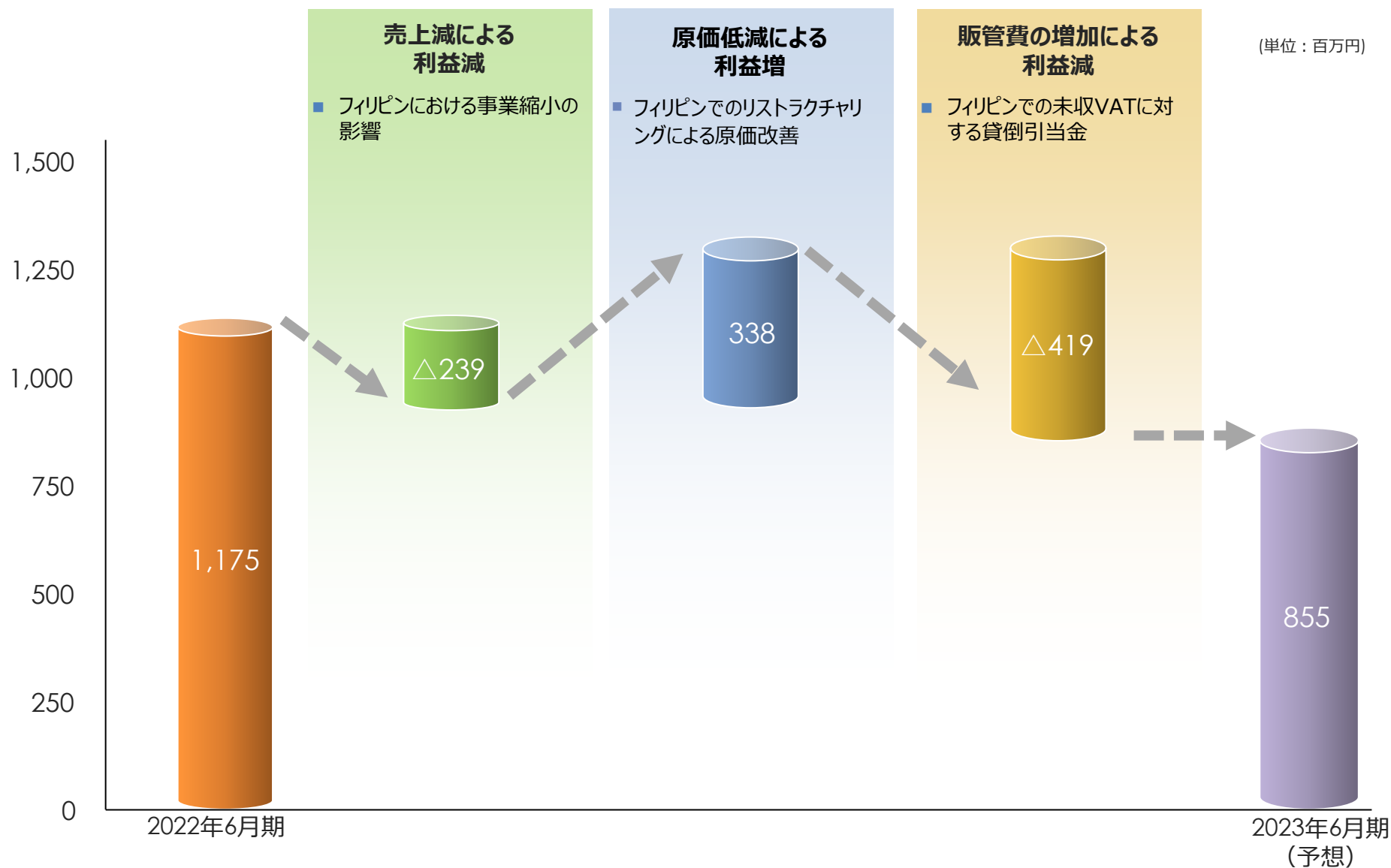
- 企業の生産活動復調の兆しはあるものの、世界経済の不透明感により慎重な動き
- **フィリピン** 未収VAT貸倒引当金及びリストラクチャリング費用計上により大幅減益、事業縮小へ



※ 当期利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」について記載

2-2. 営業利益増減要因

- 原価低減による利益増を、売上高の減少と販管費の増加が上回り減益



2-3. 損益計算書 (P/L)

(単位：百万円、%)

	実績			予想		
	2022年6月期			2023年6月期		
	金額	構成比	前期比 増減率	金額	構成比	前期比 増減額 (率)
売上高	18,610	100.0%	7.9%	17,736	100.0%	△873 (△4.7%)
売上総利益	5,109	27.5%	11.0%	5,208	29.4%	98 (1.9%)
販売費及び一般管理費	3,934	21.1%	12.6%	4,353	24.5%	419 (10.7%)
営業利益	1,175	6.3%	5.8%	855	4.8%	△320 (△27.3%)
経常利益	1,360	7.3%	27.5%	761	4.3%	△598 (△44.0%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	791	4.3%	74.6%	487	2.7%	△304 (△38.5%)
減価償却費	746	—	△0.6%	786	—	39 (5.3%)
設備投資額	1,226	—	55.0%	1,963	—	736 (60.1%)

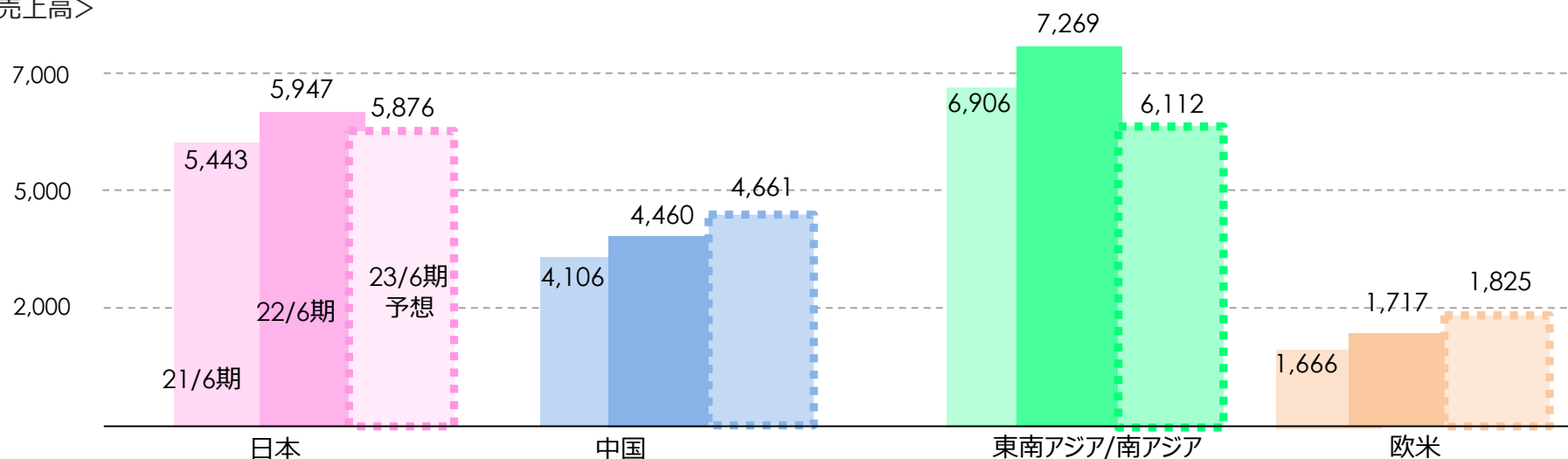
(注) 2023年6月期の想定レート (期中平均レート) は1ドル125円を想定しております。(2022年6月期は117円)

2-4. セグメント別売上高

(単位：百万円、%)

	実績		予想			コメント
	2022年6月期		2023年6月期			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比 増減額 (率)	
売上高						
日本	5,947	30.7%	5,876	31.8%	△71 (△1.2%)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体的に商品開発の延期等による取引減少 ■ グループ間取引の減少
中国	4,460	23.0%	4,661	25.2%	200 (4.5%)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東莞工場 商社化による一部取引の減少 ■ 蘇州工場 コロナからの復調による取引増
東南アジア/ 南アジア	7,269	37.5%	6,112	33.1%	△1,156 (△15.9%)	<ul style="list-style-type: none"> ■ フィリピン 税制改正対応による事業縮小(4割減) ■ 他拠点 コロナ収束に伴い復調傾向
欧米	1,717	8.9%	1,825	9.9%	108 (6.3%)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 米国 翻訳事業の更なる拡大 ■ 欧州 全体的に堅調を維持

<売上高>



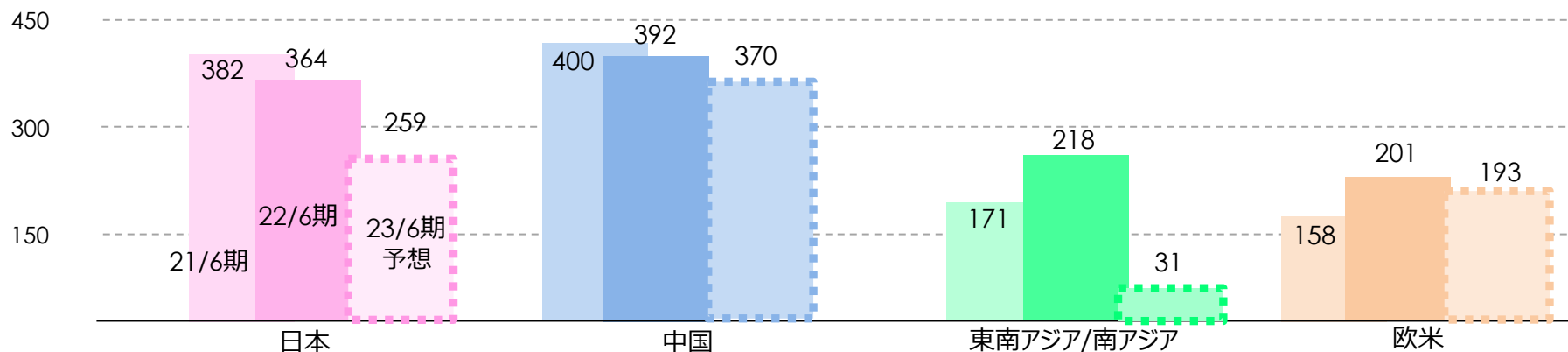
(注) セグメント間取引消去調整前

2-5. セグメント別営業利益

(単位：百万円、%)

	実績		予想			コメント
	2022年6月期		2023年6月期			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比増減額(率)	
セグメント利益(営業利益)						
日本	364	31.0%	259	30.3%	△104 (△28.7%)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上減による利益減 ■ フィリピンからのロイヤリティ減少による利益減
中国	392	33.4%	370	43.3%	△22 (△5.7%)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東莞 取引減少に伴う利益減 ■ 蘇州工場 医薬・輸送機器関連 堅調
東南アジア/南アジア	218	18.5%	31	3.7%	△186 (△85.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ■ フィリピン 取引減少とVAT未還付による経費増 ■ 他拠点 市場回復により堅調
欧米	201	17.1%	193	22.7%	△7 (△3.8%)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 欧米とも前期同様、堅調に推移

<セグメント利益>



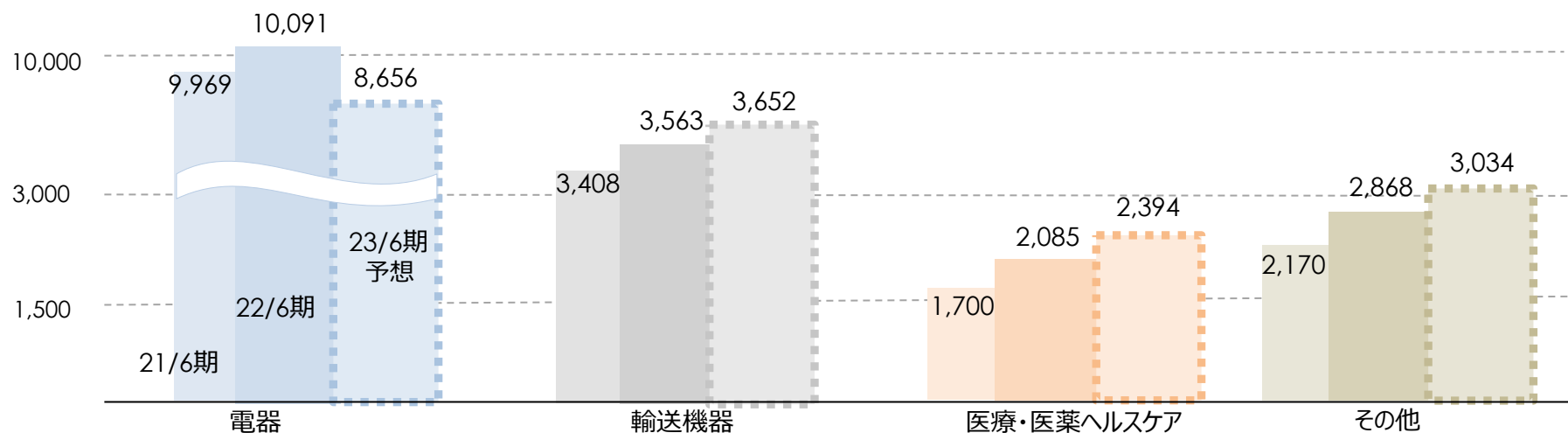
(注) セグメント間取引消去調整前

2-6. 販売先別売上高

(単位：百万円、%)

	実績		予想			コメント
	2022年6月期		2023年6月期			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比 増減額 (率)	
電器 (デジタル製品・情報 機器・一般家電)	10,091	54.2%	8,656	48.8%	△1,435 (△14.2%)	■ フィリピン 税制改正対応による事業縮小
輸送機器	3,563	19.2%	3,652	20.6%	88 (2.5%)	■ 市場回復に伴う販売増による売上増
医療・医薬 ヘルスケア	2,085	11.2%	2,394	13.5%	308 (14.8%)	■ コロナからの復調による取引増 (蘇州工場、 インドネシア等)
その他	2,868	15.4%	3,034	17.1%	165 (5.8%)	■ 全般的に異業種案件の微増により売上増

<販売先別売上>



(注) 上記実績数値は未監査



3. 新中期経営計画

新中期（3力年）経営計画

- ・基本方針(2022-2024)
- ・経営数值目標 進捗
- ・経営重点戦略 評価

CR Vision 20+(Plus)

基本方針

※
“NEXT10に向けた企業基盤の安定化へ”

2018年から2020年6月期までのCR Vision 2020を引き継ぐ形で、新中期計画を“CR Vision 20+(Plus)”とし、前中期2020にてなし得なかった経営数字の達成と重点戦略を更に強化し、NEXT10への布石となる企業基盤の安定化を図る。

経営数値目標

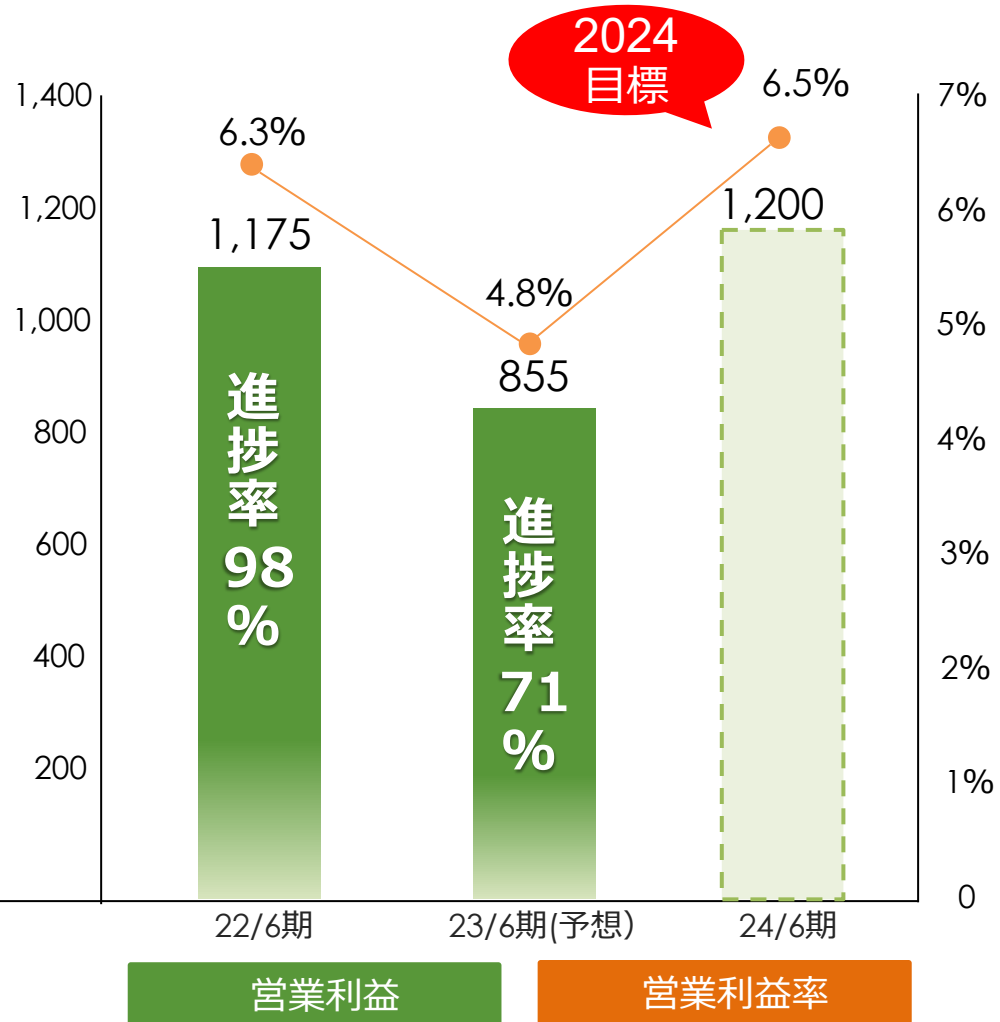
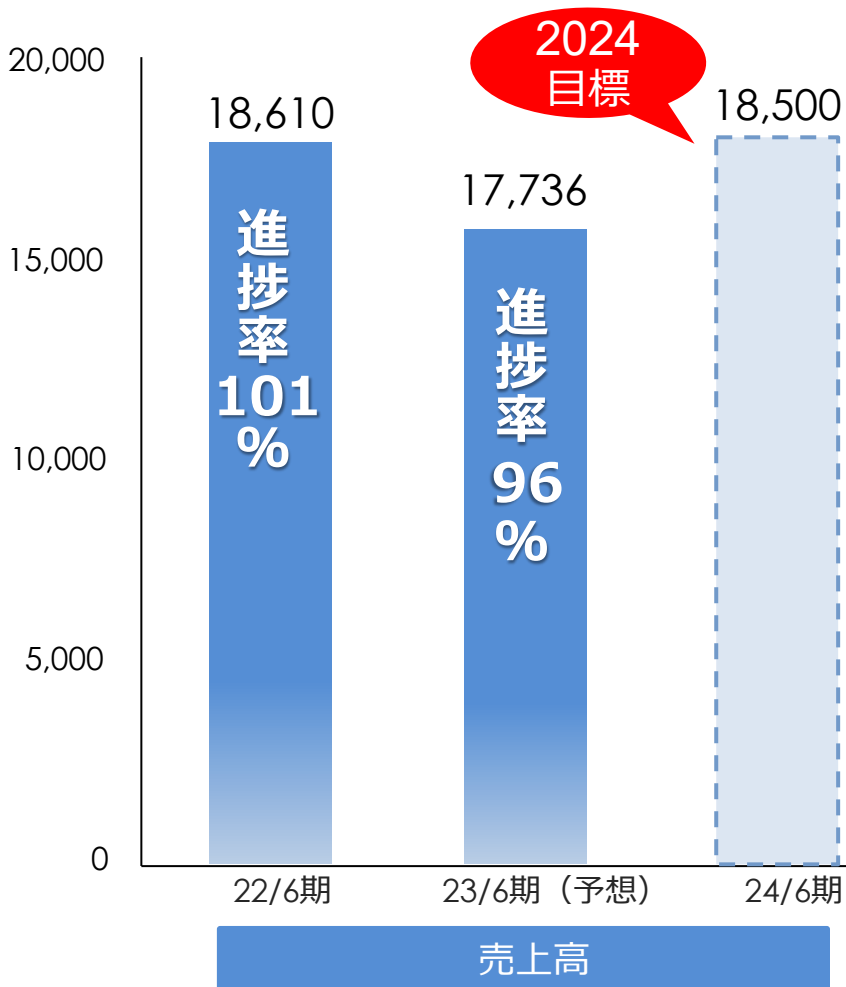
経営重点戦略

* ウィズコロナの中、経済活動や生産活動に懸念は残るが、外的環境による影響を抑えつつ、どのような環境下でも事業の安定と拡大が出来るよう重点戦略を推進する。

2024年目標

- トップライン（売上）185億円へ
- 安定的な利益確保で営業利益 12億円へ
- 営業利益率を6.5%へ

- 売上は、**フィリピン事業の再編**で目標値検討へ
- 中期2期目は、体制改善とし、最終期の**利益目標達成**へ



経営重点戦略

事業強化戦略

- 川上・川下領域の事業拡大
(ナビ社・マインズ社等による販促・BPO事業)
- 特殊分野の事業強化
(輸送機器関連・医薬系・産業機器関連等)
- 企業連携による事業領域拡大
(M&A・企業連携による新事業)

体制強化戦略

- 企業価値向上に向けたCSR促進
(社会的責任を推進し、価値あるグローバル企業へ)
- 人材育成とES向上
(社員教育と労働環境の改善)
- 生産体制の最適化推進
(アジア各拠点の生産体制見直し)

1年目レビュー


コロナ禍で企業活動全体が、緩やかな動きとなる

- マインズの販促事業が順調に拡大
- 特殊事業分野は拡大傾向であるが、世界情勢の不安定化で足踏み
- M&Aを積極的に推進中

全体的には体制強化は順調に推移

- 新中期にてSDGsへの取組開始
- 本社移転（新社屋）にて労働環境の改善へ
- 東莞工場の商社化推進と蘇州工場の移転（拡大）による体制強化

4. 株主還元



配当方針

- 当社は、株主への利益還元を経営の最重要課題のひとつとして重視するとともに、将来に亘る企業の安定と発展のために内部留保を充実し、株主の皆様に対する利益を長期的に確保することが重要であると考えております。
- 株式上場以降、期末と中間の年2回の配当実施を基本方針としつつ、配当の金額につきましては、**配当性向30%以上を目標に**、安定性と成長性のバランスを重視し、経営環境の変化に対応するための持続的な投資に必要な内部留保、中長期的な業績見通し及び資金状況などを総合的に勘案して業績連動型の配当を実施していく方針にあります。

配当金

	第2四半期末	期末	合計	配当性向
2023年6月期（予想）	24.0円	24.0円	48.0円	30.4%
2022年6月期（実績）	29.0円	49.0円	78.0円	30.4%
2021年6月期（実績）	13.0円	32.0円	45.0円	30.4%
2020年6月期（実績）	24.0円	12.0円	36.0円	42.9%



Appendix

会社概要

成長戦略概要

成長戦略トピックス

長期戦略方針（10年）NEXT10

Global Communications

“世界を繋ぐ 人に優しいコミュニケーションの創造へ”

■ 本 社：静岡県浜松市東区笠井新田町676番地

■ 設 立：1984年9月17日

■ 代表者：高林 彰（2011年6月就任）

■ 証券コード：7812（東証スタンダード）

国数・拠点数（連結）



12か国35拠点

連結売上高（6月決算）



186億円

2022年6月期連結売上

従業員数（連結）



1,536人

2022年6月30日現在

翻訳実績

2021年1言語増加



105言語

各バリエーション含む

取引先実績



1,600社以上

クレストックグループの取引先実績

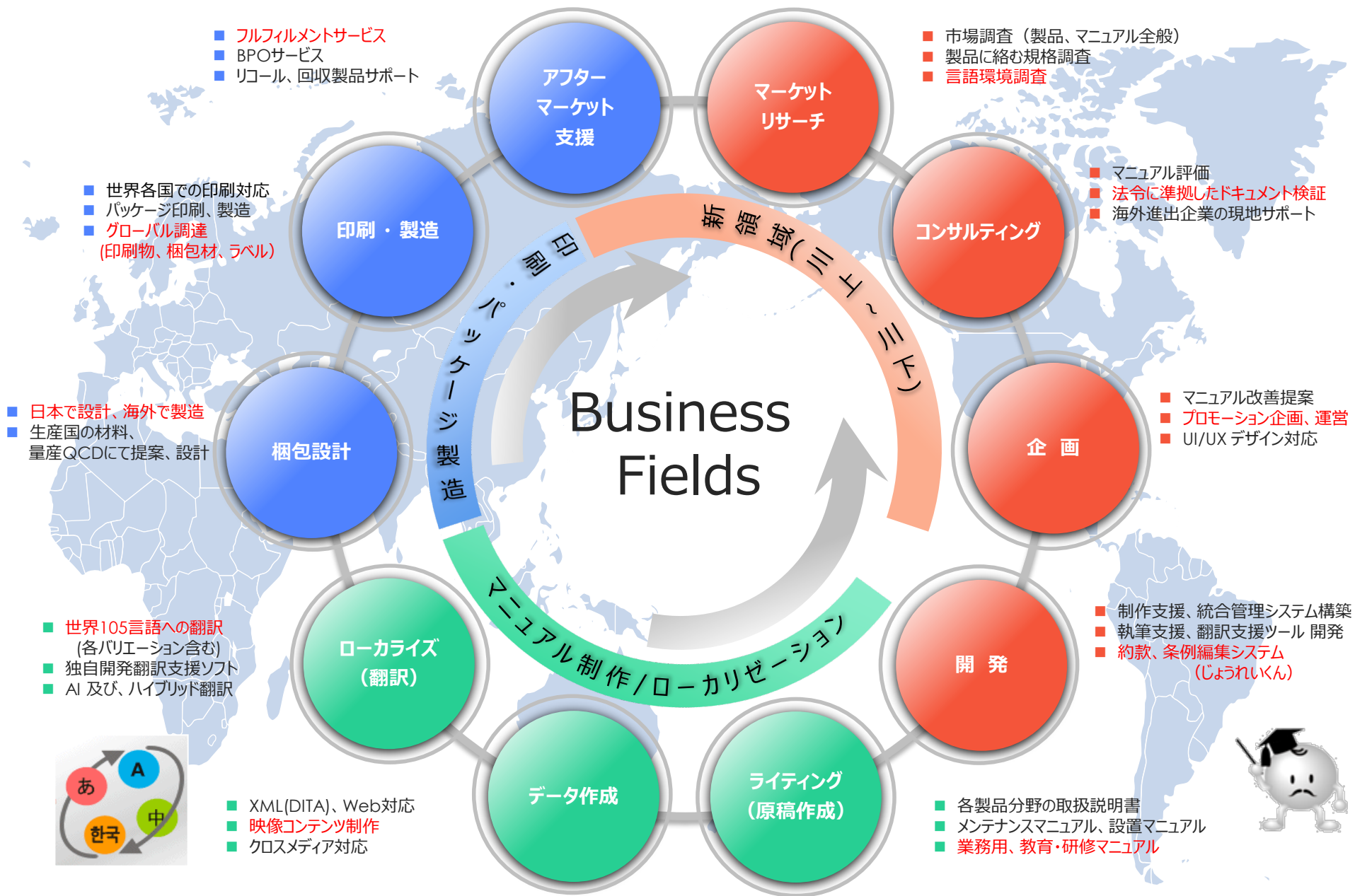
取り扱い品目

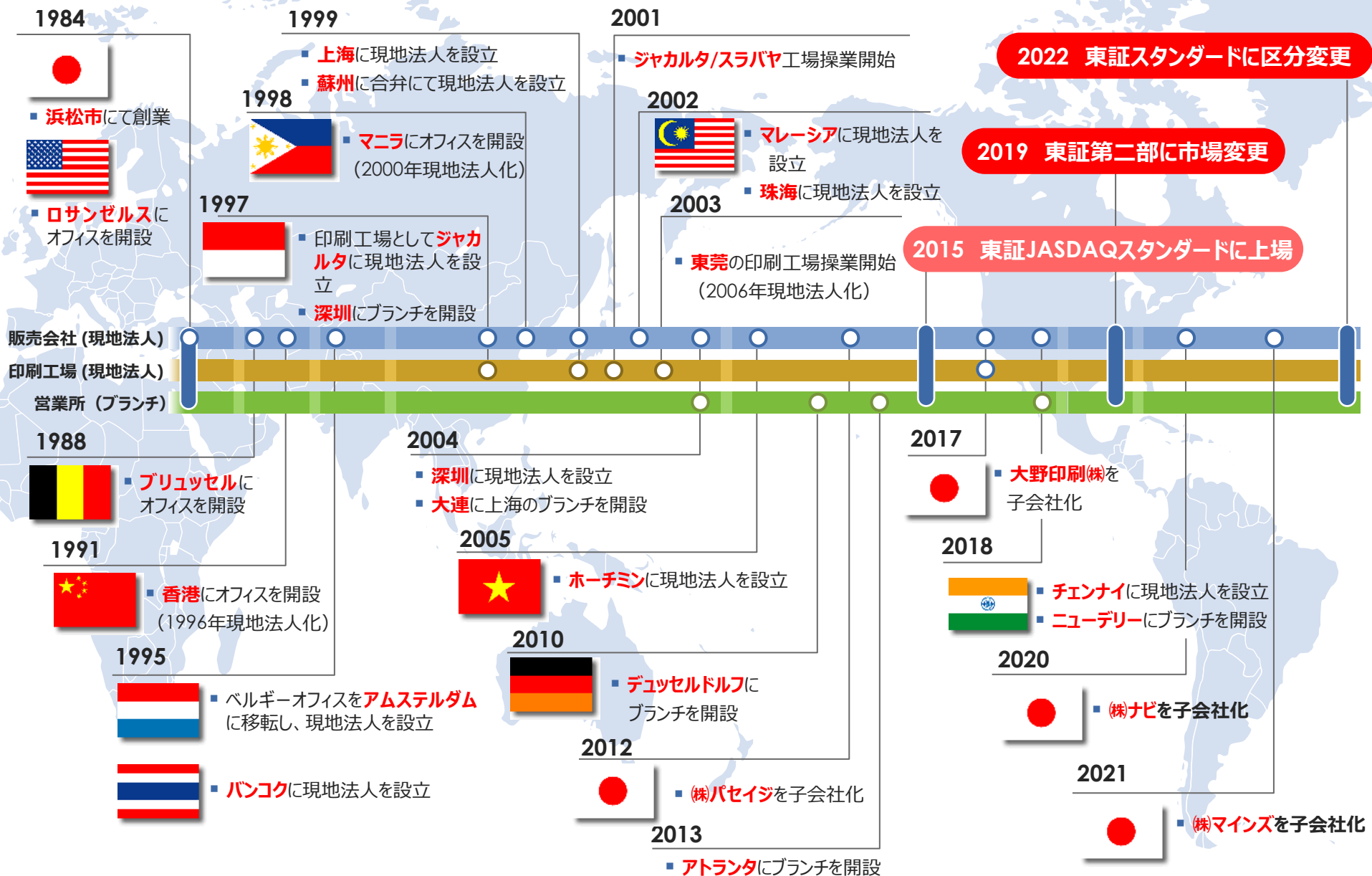


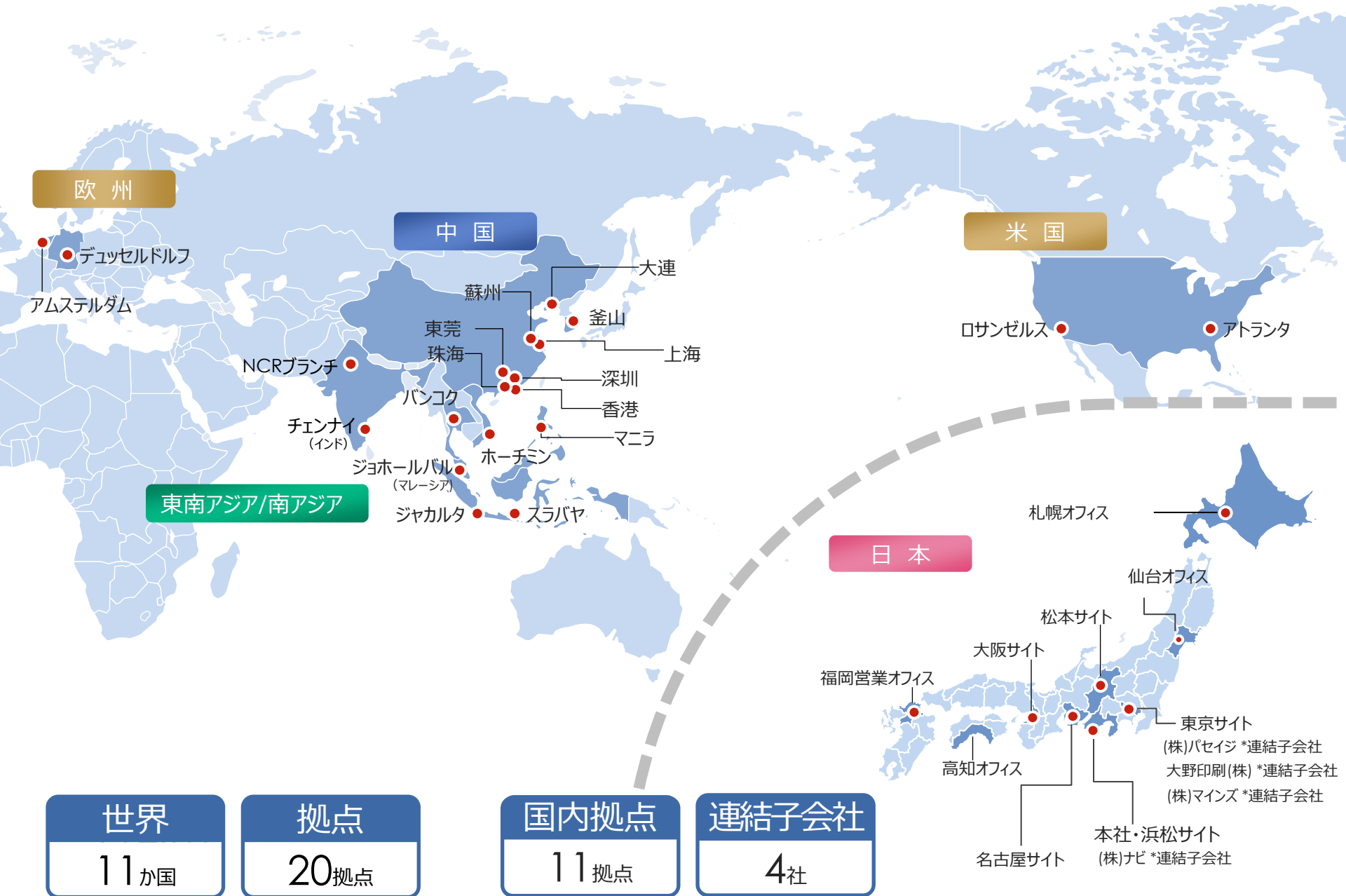
145品目

当社が関わった一般消費者向けの品目数

当社グループの事業領域 (サービス項目)







拠点別事業領域 (サービス項目、機能)



● : 主要サービス ○ : サービス対象

セグメント

拠点

		サービス項目									拠点機能					
		マーケットリサーチ	コンサルティング	企画	開発	ライティング	データ作成	ローカライズ	梱包設計	印刷・製造	アフターマーケット支援	製造拠点 (印刷加工 ※POD)	販売拠点 (倉庫 品質管理)	翻訳拠点	制作拠点 (ライティング)	研究・開発拠点
日本	当社(釜山含む)	○	●	●	●	●	●	●	●	○	■	■	■	■	■	※POD印刷/日英言語
	パセイジ		○	●		●	●	○		●				■		
	大野印刷		○	●		●	●	○		●				■		冊子印刷
	ナビ	○	○	●							●			■		
	マインズ	●	●	●											■	
中国	蘇州									●	○	■				冊子印刷
	上海 (大連含む)	●	○	●		●	●	●			○			■	■	販促/中国言語
	華南地区 (東莞/他含む)								●	●		■	■			冊子/パッケージ印刷
東南アジア・南アジア	ベトナム (ホーチミン)								○	●		■	■			パッケージ加工
	フィリピン (マニラ)								●	●			■			
	タイ (バンコク)	○	○	●		○	●	●	○	●			■	■	■	アジア言語
	インドネシア (ジャカルタ、スラバヤ)								●	●						冊子/パッケージ印刷
	マレーシア (ジョーホールバル)									●				■		
	インド (チェンナイ)	○		○		○	●			●				■		2018年設立
欧米	オランダ (アムステルダム)	●	○			○	●	●		●	●		■	■	■	欧州/中東言語
	アメリカ (ロサンゼルス)	●	○		○	○	●	●		●	●	■	■			※POD印刷

※POD : Print On Demand の略

- サプライチェーンの川上から川下まで**一気通貫のサービス**
- 更なる**拠点拡大**で、世界規模でのグローバル体制強化へ

欧州

- 欧州系言語の翻訳
EU中心に60言語以上対応
- 印刷・アッセンブリー (BPO)
- 販売支援サービス



中国

- 特殊印刷・アッセンブリー
- パッケージ製造
- 翻訳 (中国系言語)
- 販売支援サービス



米国

- マルチメディア (動画、HTML等)
- 業界動向調査
- フルフィルメント
- 販売支援サービス



ONE STOP GLOBAL SOLUTION

翻訳

翻訳・印刷・DTP

印刷・翻訳

印刷

印刷

世界のリソースの有効活用で
最高のQCDを訴求。
更に世界どこでも
日本基準のサポート体制

印刷・販売支援

東南アジア/南アジア

- 印刷、パッケージ製造
- 物流梱包資材製造
- 商社機能
- 翻訳 (東南アジア系言語)



日本

- ドキュメント制作、総合ソリューション
 - コンサル、企画
 - 販売支援サービス
 - システム開発



- グローバルの中で**高品質なサービス**提供
- 経験豊富な**スペシャリスト**による安定的なサービス提供



ドキュメンテーション (質の高い制作力)

- 豊富な経験と製品知識をもつ**テクニカルライター**による原稿作成
- 家電から自動車、建機や特殊製品まで多くの製品分野に対応

ジャパンマニュアルアワード 2019 受賞

(一財)テクニカルコミュニケーター協会 (JTCA)

当社が制作に関わったマニュアルが優秀賞 受賞

加盟団体



製品：
LGIエレクトロニクス
LG styler



翻訳 (言語のスペシャリスト)

- 翻訳取引額で、**日本で4位**
出所：言語サービスプロバイダーランキング2022
- 100言語以上への翻訳
(2021年累計実績 **105言語**対応)

2022年 CSAランキング

Common Sense Advisory社

総合で世界36位にランクイン

加盟団体



GALA :
Globalization and Localization Association



パッケージ開発力 (グローバル視点での設計提案)

- 海外素材にて**日本にて設計提案、海外製造**へ
- 輸送(積載)効率を考えた梱包設計でコスト低減へ

2021 日本パッケージコンテスト 受賞

(公社)日本包装技術協会

京セラ社様製品において
「電気・機器包装部門」入賞

開閉機能重視の
テレスコープ型
スマートフォン個装箱



- お客様との技術資料制作の実績で培われた**信頼関係**により、ビジネスフィールド拡大
- 既存事業に加え、販促などの**川上業務**やユーザー支援の**川下業務**も

展開事例

事業領域の拡大

(マーケティング)

営業向け商品説明ツールからイベント企画、ブース運営まで



(販売支援サービス)

お客様の海外市場での販売拡大を目的に海外にて販売代理店を！



POCKETALK
ポケットーク

* ソースネクスト社
「POCKETALK® (ポケットーク)」をタイ市場にて販売

(アフターマーケット)

ECサイト構築・運営からフルフィルメント事業まで



信用力

- 長年の技術資料制作の実績から生まれた強いお客様との**信頼関係**

安心感

- 世界中どこでも日本基準をベースとした高い**品質保証**

対応力

- 競合他社にはないグローバル体制にて**一気通貫のサービス**

展開事例

既存事業の深化

(コンサルティング)

マニュアルの分析・評価から海外の法規アドバイスまで



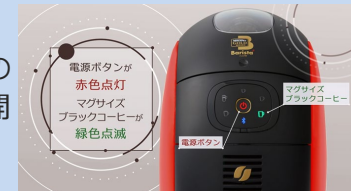
マニュアル



IEC 82079-1
適合マニュアル

(新メディア対応)

Web、動画などの電子マニュアル展開へ



(商社機能)

製品梱包のノウハウからコスト低減の新梱包資材の提案と調達へ



梱包資材 (フィリピン)

品質を追求した新たな事業分野拡大

- 医薬品・医療機器
- ヘルスケア製品
- 生活用品
- 食品・飲料品

**事業分野
拡大**

経営資源を生かした事業領域拡大

- コンサルティング
- 販売支援サービス
- アフターサービス
- BPOサービス

**事業領域
拡大**

ノウハウ・人的資産による事業の深掘り

- 新メディアサービス
- AI化による業務支援
- 翻訳サービス(特殊分野、NMT等)
- 梱包資材開発

**既存事業
深化**

既存事業

国内: ドキュメント制作
海外: 印刷、製造

医薬品業界へ

高品質が要求される医薬品業界へ



・中国、欧米、日本の製薬会社との取引拡大により**設備増強**（蘇州）

・医薬品関連商品にて**日系企業**とも取引拡大（インドネシア）

事業分野
拡大

一般家電から消費財業界へ



インドネシア印刷機



・日系**生活用品**企業及び**医療機器**製造企業と取引拡大（インドネシア）

生活用品・ヘルスケア用品業界へ

マーケティングサポート（川上）

販売促進プロモーション

展示会、イベントなど企画運営から
プロモーション支援まで

minds

2021年7月より販促事業の
(株)マインズがグループに！



事業領域
拡大

「ドキュメント × 対話型AI」
で新サービス

C's-navi



AIの活用でCS（顧客満足度）向上に
貢献する**革新的なソリューション**をご提供

アフターマーケット支援（川下）

“働き方改革”の推進へ

オンラインマニュアル作成・運用サービス



コニカミルタ社開発“ココミテ”の販売契約締結。社内ドキュメントのマニュアル化推進で、企業の**生産性向上**をトータルサポート！

・業務効率化
・技術伝承
・人材育成 等



既存事業
深化

新空間「ハーフムーンシアター」



180°スクリーンと
コンテンツの融合で
異空間を演出！



企業のPR活動に

新空間でソリューション提供

NEXT 10

(2022-2031)

コーポレートスローガンのもと、長期視点に立ち、更なる変革として**新領域への挑戦**を推進する

新領域への挑戦とは

マニュアル制作から総合情報創造企業として、BtoCからBtoBまで企業内の全ての情報を分かりやすくユーザーに提供できる体制構築を目指して、今後10年 事業の拡大を図る

コーポレートスローガン

Global Communications
“世界を繋ぐ 人に優しいコミュニケーションの創造へ”

ビジョン

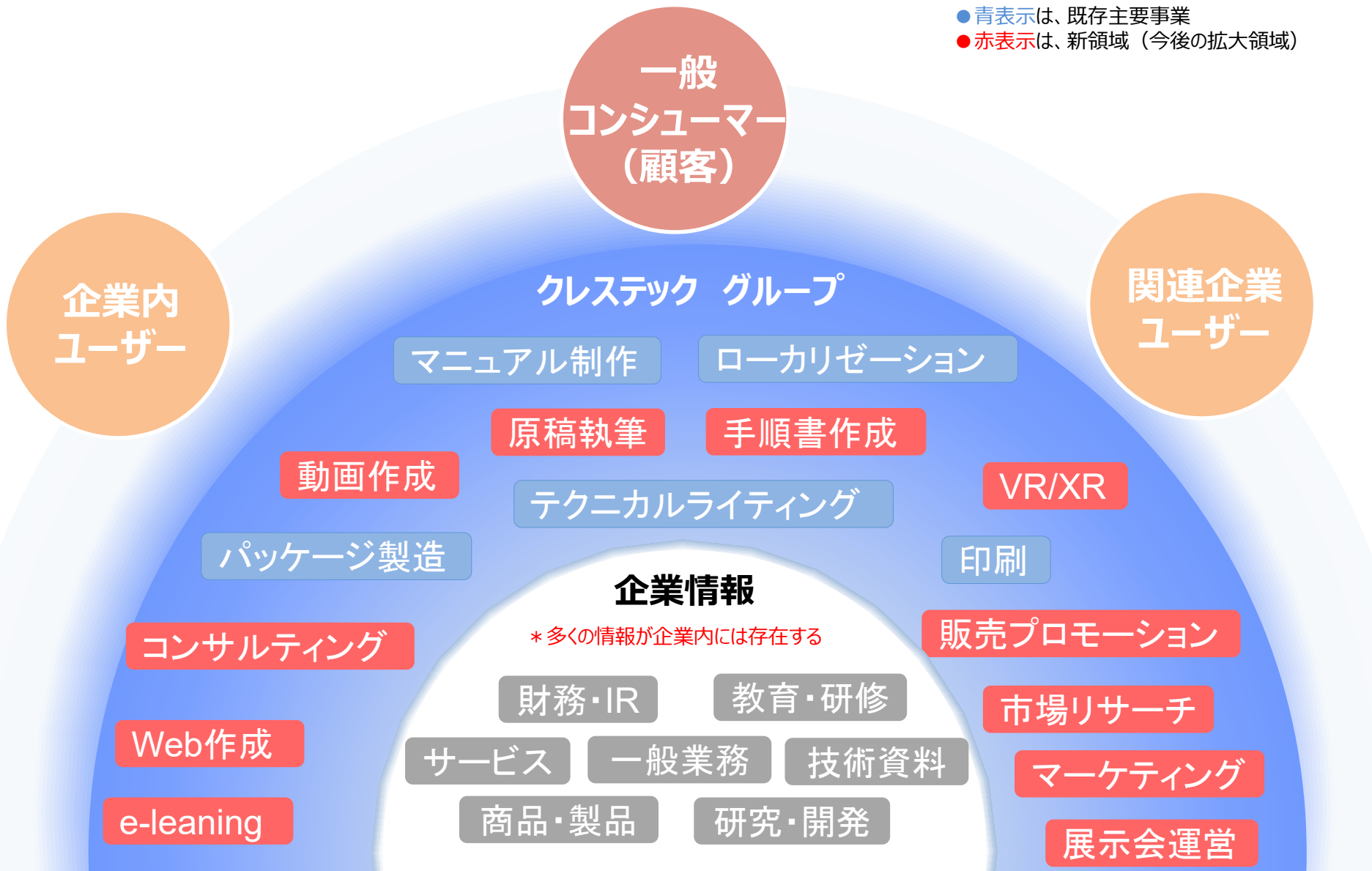
全てのコミュニケーションを創造する「情報創造企業」へ

ミッション

我々は世界の人とヒト、人とモノを繋ぐコミュニケーションを創造することで、伝えたい情報にカタチを与え、世界中の人々の心に感動と喜びを創出し、楽しく安心して暮らせる社会の構築を目指します。

- マニュアル事業から情報を扱う複合サービスへ
- 総合的な情報創造企業への転換 (全ての領域で情報をカタチに)

● 青表示は、既存主要事業
● 赤表示は、新領域 (今後の拡大領域)



- 既存事業が市場性も含め**鈍化傾向**
- 世界各国どこでも“One Stop Solution”を実現するため、**新領域の拡大**へ

新領域

- 川上、川下業務の**拡大**
- M&A (ナビ、マインズ) による**拡大**
- 全体の**10%以上**のビジネスに

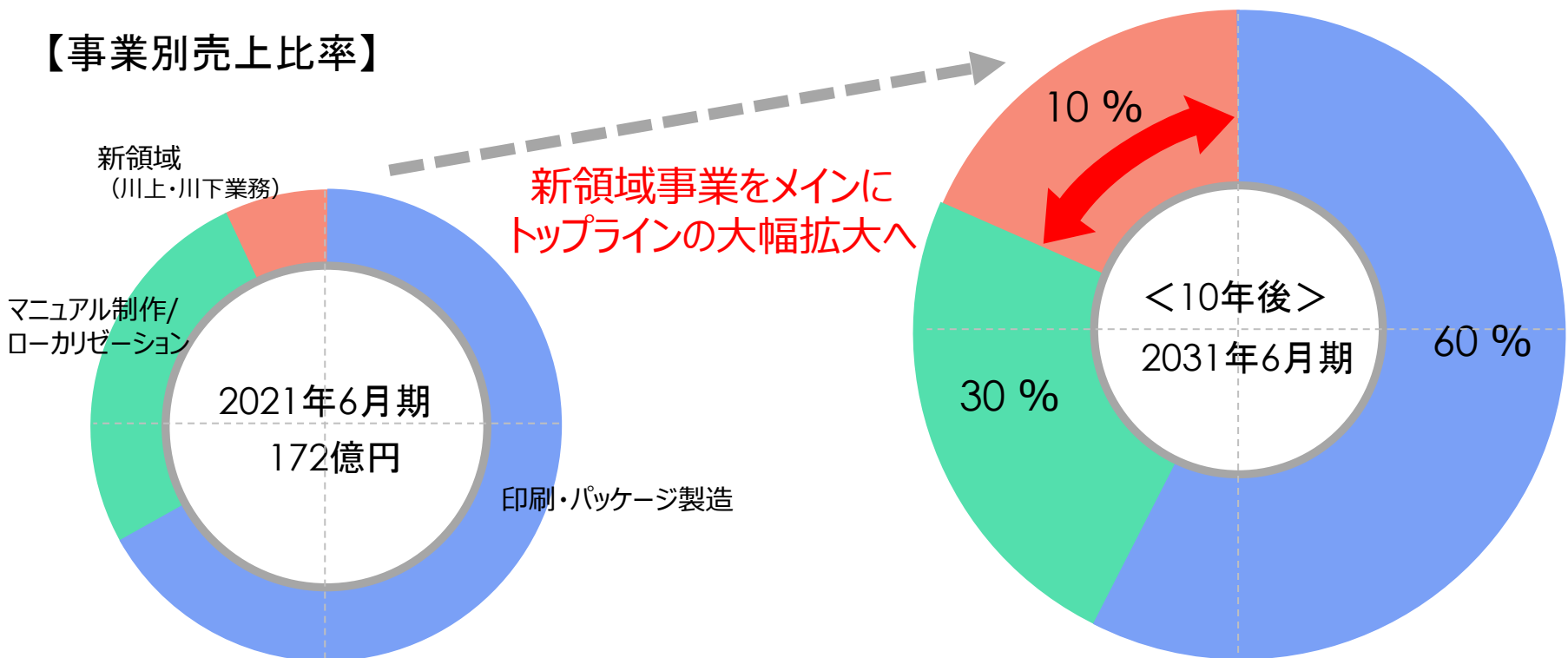
マニュアル制作/ローカリゼーション

- 既存制作は一部鈍化傾向
- 業務系、教育系など**拡大**へ
- 翻訳も特殊分野に**拡大**へ

印刷・パッケージ製造

- 商業印刷、一般取説需要は**減少**
- 特殊分野、パッケージにて取引規模は**純増**へ

【事業別売上比率】





世界を繋ぐ 人に優しいコミュニケーションの創造へ

「情報創造企業」として、我々は世界の人とヒト、
人とモノを繋ぐコミュニケーションを創造することで、伝えたい情報にカタチを与え、
世界中の人々の心に感動と喜びを創出し、
楽しく安心して暮らせる社会の構築を目指します。

IRに関するお問い合わせ先

株式会社クレストック 管理部 人事総務課

.....

電話 : 053-435-3553

e-mail : ir-info@crestec.co.jp

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。